2016年5月26日

NPO、福祉施設、社協関係　各位

特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク

**理事長　二見　令子**

熊本地震「現地派遣ボランティア・コーディネーター」の

募集について（お願い）

謹啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。本会の運営につきましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

　さて、とちぎボランティアネットワークでは、2016年4月14日の熊本地震発生以来、熊本県西原村に継続してボランティア・コーディネーターを派遣しております。この度、下記のように派遣要員を募集いたします。

今後、予測される首都直下地震・東南海地震、および毎年のように発生する水害等に対し、貴団体におかれましても災害ボランティアセンターや福祉避難所の運営などを行っていかなければならないことも多くあると思います。このボランティア・プログラムは、若手の職員の皆さまを実地で災害ボランティアの実践・研修する場としても役立てていただけると思います。

　なお、このプログラムでは、往復交通費・現地宿泊費のほか、各団体への人件費補助（5,000円/日：要相談）を本会で負担いたします。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　敬具

記

1. 活動期間：5/25～7月中旬までの2か月間のうち、１人６～９日間（2日は移動日）
2. 活動場所：熊本県阿蘇郡西原村災害ボランティアセンター、避難所など
3. 募集対象：栃木県内の災害・防災等に関心のあるNPO職員、福祉施設職員、社会福祉協議会の職員等
4. 現地での活動内容：①災害ボランティアセンター及び避難所の運営スタッフ

　　　　　　　　　　　　②足湯ボランティア活動のコーディネートなど

1. プログラムの目的・概要

・栃木から、1週間ほど活動できる人材をコーディネーターとして継続的に派遣し、災害ボランティアセンターや避難所運営の中核メンバーとして運営に当たらせる。継続して栃木から派遣することにより、引き継ぎにおけるミスを軽減し、かつノウハウの継続をしやすくさせ、現地で大量に必要となる単発ボランティアが活動しやすい状況を作り出すことが目的である。

足湯ボランティア活動は、同じ地域に入っている「震災がつなぐ全国ネットワーク」関係団体と協力しボランティア活動を行う。この活動を通じ「住民のつぶやき」を拾い今後の支援につなげていくコーディネートを行う。

・栃木に帰還後、毎週水曜日の19時より「熊本地震ボランティア活動報告会」を開催する。これにより、自力で熊本に行って活動したい人への情報提供や、その時々に必要な「支援を求め・発信する場」とする。さらに予め現地との連絡調整を行う場として、熊本地震救援の情報センターとしての役割を担う。

派遣の日程（イメージ）

①　１～４ は週初めより週末までの派遣、現地活動日は４～７日（＋移動２日）。

②　A～D は週半ばから翌週の半ばまで、現地活動日は４～７日（＋移動２日）。

　・なお、日程を延長したい人、長期で入りたい人などは要相談

＜問合せ＞

認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク

電話　 ：028-622-0021

メール：tvnet1995@ybb.ne.jp

WEB　　：tochigivnet.com

栃木県宇都宮市塙田2-5-1　共生ビル３階